



はらじゅくかわら版

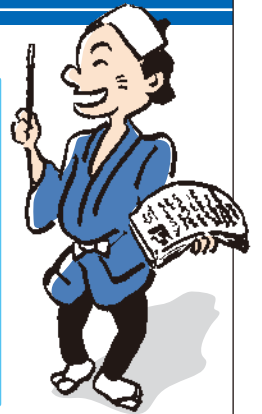
独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



栄消防署テロ対策訓練参加風景（ドクターカー出動）

記事「栄消防署テロ対策訓練参加（ドクターカー出動）」はP5に掲載

第57号 目次

特集 -医師が語る疾患-	1	行事紹介	5
第16回 スギ花粉症・ハウスダストアレルギーに対する舌下免疫治療について		栄消防署テロ対策訓練参加（ドクターカー出動）	
耳鼻咽喉科部長 佐々木 祐幸		第15回糖尿病フェア	
連載	2	地域医療連携	6
職員リレー紹介 第15回 栄養管理室		外来担当医表／編集後記	7
お知らせコーナー	3		
脳血管内治療が始まりました！！			
内視鏡診療の紹介			
ヨコハマキラリネット運用開始	4		
独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター附属			
横浜看護学校 平成30年度入試より一般入試が2回に			
増えました！！	4		

発行 月：平成29年7月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：平原 史樹
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電話：045-851-2621
 FAX：045-851-3902
 URL：http://www.yokohama-mc.jp



●当院携帯サイトはこちらから

特集－医師が語る疾患－

第16回 スギ花粉症・ハウスダストアレルギーに対する舌下免疫治療について

耳鼻咽喉科部長 佐々木 祐幸

約10年前の調査で、日本に住む人々の1/4以上が罹患しているスギ花粉症は、すでに国民病として知られています。これにハウスダスト（以下HD）などによる鼻アレルギー症状を持つ人を加えると、全人口の1/3以上が何らかの吸入抗原に対するアレルギー症状を持っていることとなります。2018年に行われる予定の国内調査では、これが全人口の半数近くに達するであろうと予想されています。

現行のスギ花粉症・HDアレルギー治療として、抗ヒスタミン薬内服が第1選択であるということをご存じの方も多いでしょう。以前の内服薬にあった眠気、口渇などの副作用を抑えて良好な効果を発揮できる抗ヒスタミン薬が増えています。また、以前からあったステロイド点鼻薬の全身的な副作用をほぼ0とした、新しいタイプのステロイド点鼻薬も開発されており、内服薬と点鼻薬、点眼薬の併用で花粉症シーズンを楽に乗り切ることができるようになって来ました。

ただし上記薬剤の効果が増しても、それらの薬剤はスギ花粉症・HDアレルギーで起こる症状を抑えているだけで、治すことはできません。スギ花粉症・HDアレルギーを“治す”ための治療が“舌下免疫療法”です。ごく最近までは、原因となる抗原製剤（スギ花粉症エキス、HDエキス）を週1回注射する“皮下免疫療法”のみの治療でしたが、頻回の注射のための通院と注射された抗原物質による強いアレルギー反応が治療の妨げとなっていました。

現状ではスギ花粉症治療薬が1種、HDアレルギー治療薬が2種あり、剤形も口腔内でとけるタイプの錠剤や水薬などがあります。使用方

法は剤形にかかわらずほぼ同じで、1日1回舌下部に薬剤・薬液を含み数分そのまま置いておき、飲み込むというものです。これらの薬剤を販売する前の臨床試験では、その有効率が医師側で期待していたほど良くなかったため、効果に疑問を抱く医師も多かったのですが、実際に使用して見ると患者さんの手応えは非常に良好であり、強い副作用のケースも少ないことが分かりました。治療開始から2年程度は内服を続けることが望ましいですが、花粉症期直前（11～12月頃）に治療を開始した患者さんでも、直後の花粉症症状をかなり抑制できました。治療開始には年齢等いくつかの条件がありますが、興味のある方は是非近隣の耳鼻いんこう科医院に治療が可能かをご確認の上、ご相談下さい。



第15回 栄養管理室

栄養管理室は1階の東側にあります。スタッフは管理栄養士、調理師、業務委託合わせて40名弱が勤めております。

当院の栄養食事基準に基づき、適切に調製された食事を、安全に提供しております。また、嗜好調査や残食量調査の結果やご意見に基づいて部門内で検討する等、患者満足度の向上にも努めています。当院の食事基準の特徴は、特別治療食においても軟菜形態や形態調整の食種を設けて、食べやすさと事故防止に配慮しております(約180食種)。また、がん治療等による食欲不振に対応すべくUP食を設けています。コメントについても細かく設定し、アレルギーの対応や患者さんの嗜好にも配慮しています(約210種)。これ以外にも、治療等により特別な対応が必要な場合には、管理栄養士が相談のうえメニューを調整しています。

温冷配膳車を用い、適温にて食事を配膳しています。出産された方には特別な食器を用いたお祝い膳や産後食の提供を行っています。お誕生日にはカードとデザートを添えるほか、季節の行事には行事食の提供やメッセージカードを添付する等、食事の満足度向上に努めています。

衛生管理では大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき、食材の納入から食事の提供に至るまでの品質の管理および調理従事者の衛生管理に努め、安全な食事の提供に心がけています。

非常食として3日分(9食分)510名分を保管しています。

個人栄養食事指導について

入院および外来患者を対象に、糖尿病、心臓病、腎臓病、肝臓病、消化管術後の食事のほか形態調整や低栄養に関する食事の相談も行っています。また、地域医療連携医から紹介された患者を対象に個人栄養指導を行っています。

集団栄養食事指導

糖尿病教室 第2・4曜日栄養担当 毎週水曜日

母親学級 栄養担当 毎月2回開催

産後栄養指導 毎週月・水・金曜日

チーム医療

他の職種と連携を図り、チーム内で栄養管理の専門家としての役割を果たしています。

①栄養サポートチーム

(低栄養対策チームおよび
摂食・嚥下チーム)

②褥瘡防止対策チーム

③糖尿病チームケアユニット

④摂食障害患者ケア



お知らせコーナー

脳血管内治療が始まりました！！

脳神経外科 脳血管内治療専門医 畑岡 峻介

以前より県内ならず全国的にも有数の手術件数で特に開頭手術に於いて定評があった脳神経外科ですが平成29年4月より脳血管内治療(カテーテル治療)の体制が整い導入開始されました。

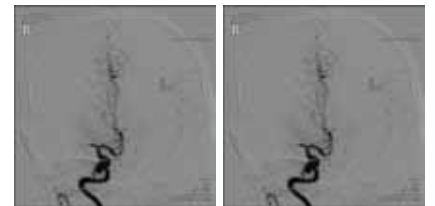
脳血管内治療はテレビなどでも低侵襲で負担が少ない治療として取り上げられており、今後脳神経外科の大きな柱となる治療法です。患者さんの選択の幅も増えより盤石な脳神経外科治療体制が整いました。専門外来も開設しましたのでどうぞお気軽にご相談ください。



急患随時対応！！ 毎週 水曜・午後：脳血管内治療外来 新設！！

A. 脳梗塞 → 血栓回収療法

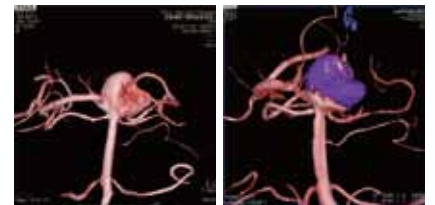
一刻を争う脳梗塞の治療でも効果を発揮します。上手くいけば治療直後から症状が改善することもあります。アルテプラゼ療法に次ぐ標準的治療になりつつあり、当院で一貫した脳梗塞治療が可能となりました。



B. 脳動脈瘤 → コイル塞栓術

右のような大きな動脈瘤でも切らずに治療でき手術時間・入院期間も短く済みます。

従来の開頭クリッピング術のメリットも活かしより安全性の高い、ニーズにあった治療選択が可能となりました。



開通！！

C. 頸動脈ステント留置術

脳梗塞のリスクとなる内頸動脈狭窄症に対しても低侵襲に治療が可能です。今までは全身麻酔下で内膜剥離術が必要でしたが、局所麻酔下、短時間で治療可能です。全身麻酔がかけられない方でも治療することが可能となります。



内視鏡診療の紹介

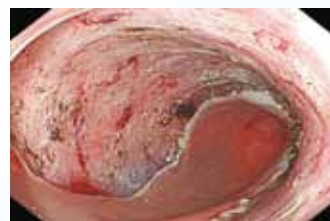
消化器科部長 野中 敬

近年における本邦の臓器別癌診断数の1位は大腸癌、2位は胃癌です。転移の可能性が少ない消化管の早期癌では、胃腸を外科切除する事なく、口や肛門から挿入した内視鏡を用いて癌のみを切除する内視鏡治療が第一に選択すべき治療法とされています。内視鏡治療は術後の機能障害も少なく、低侵襲治療として注目されています。最近の内視鏡機器の向上は目覚ましく、特殊光観察や拡大観察といった早期癌を発見するためのテクノロジーが次々に開発され、当院でも日々の診療に取り入れております。

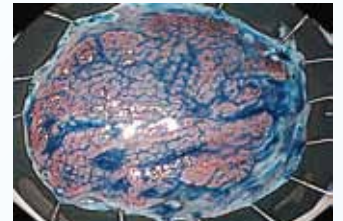
横浜医療センター消化器内科では2017年4月から、これまで大学病院や地域中核病院で内視鏡診断・内視鏡治療を専門に取り組んできた医師数名が増員され、これまで以上の内視鏡診療体制が整いました。食道から大腸まで精緻に検査を行い、安全で的確な内視鏡治療を行う事が可能です。また本年度からは横浜市胃癌内視鏡検診事業にも参画し、早期癌の発見に努め、市民の方へ安心や健康を提供出来るよう励んでいきます。



S状結腸腫瘍



内視鏡的粘膜下層剥離術後創部



切除検体

行事紹介

ヨコハマキラリネット運用開始

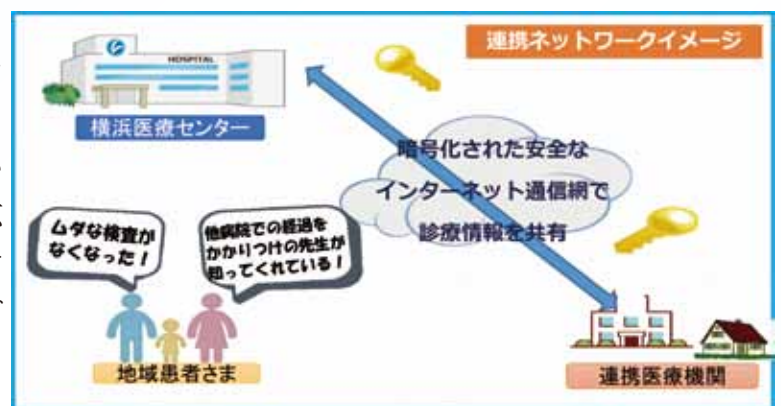
業績評価係長 金井 健吾

横浜医療センターでは、今年度より「ヨコハマキラリネット」の愛称で、地域医療連携ネットワークの運用を開始しました。

「ヨコハマキラリネット」は、当院と地域の医療機関を結ぶ連携ネットワークによって、同意をいただいた患者さまの診療情報（カルテ情報・検査情報など）を安全に共有し、より質の高い医療を効果的に提供させていただくための取り組みです。

このネットワークに参加している医療機関であれば、横浜医療センターでの診療状況を共有できるため、かかりつけの先生に、当院での診療や検査の状況を的確に伝えることができます。また、検査（血液検査やX線検査など）や処方情報を共有することにより、不必要な二重検査や投薬を省くことができるため、患者さまの『お身体』や『お財布』にもメリットのある事業となっています。

横浜医療センターでは、今後、「ヨコハマキラリネット」に参加する医療機関の拡大に取り組んで参りますので、かかりつけの先生より「ヨコハマキラリネット」のご案内がありましたら、ぜひとも医療連携ネットワークの利用をご検討ください。



連携ネットワークイメージ図

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校

平成30年度入試より **一般入試が2回に増えました！！**



	試験日
NEW! 一般入試第1回	H29.12.9 (土)
一般入試第2回	H30.1.11 (木)
社会人入試	H29.10.13 (金)
推薦入試 〈指定校/公募〉	



学校説明会 日程 *事前の申込をお願いします。

8月 8日(火)	受付	9時～9時30分
8月24日(木)	説明会	9時30分～12時30分
9月16日(土)		
10月28日(土)	楓葉祭同時開催	



行事紹介

栄消防署テロ対策訓練参加 “ドクターカー出動”

庶務班長 佐野 浩士



2017年6月19日、栄消防署テロ対策訓練が行われました。この訓練は、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック開催を見据え、バスハイジャック事案の想定に基づいた、消防・警察・医療機関など6機関合同によるテロ対策訓練として実施されました。

横浜医療センターは、横浜医療救急チーム(YMAT)として、医師・看護師・救急救命士3名により参加し、救急隊とともに傷病者のトリアージ及び観察を行いました。現場となった本郷台駅前広場には、当院所有のドクターカーで乗り入れました。

当院では新たな取り組みとして、ドクターカーを本年4月1日より導入し、活動を開始しています。救急要請に応じた消防救急指令より、医師等の出動要請が求められた場合に、当院の救命救急センターの医師、看護師、救急救命士がドクターカーで救急現場に向かい、救急現場で救急車と合流し、救命処置を行った後に救急車で適切な医療機関に搬送します。

今後のドクターカーの運用として、救急現場への対応の他に、地域の医療連携施設やかかりつけ医等からの専門性が求められる様々な医療要請等に応じて当院の専門スタッフが出前して適切な医療判断をその場でしていくことも考えております。



第15回糖尿病フェア

糖尿病チームケアユニット 薬剤部 赤木 祐貴

2017年6月20日火曜日に毎年恒例の糖尿病フェアが開催されました。本イベントは糖尿病への理解や関心をもっていただくことを目的に、毎年6月に開催しており、今年で15回目の節目を迎えます。運営は、院内の糖尿病チームケアユニットのメンバーを中心として行っており、医師は血圧測定、看護師はフットケア・体脂肪測定、薬剤師はお薬相談、栄養士は栄養相談、臨床検査技師は血糖測定、理学療法士は運動療法を通じて、各職種専門性を活かした啓発活動を行いました。具体例として、薬剤師のブースでは、薬のみ忘れの多い方に対して、のみ忘れを防ぐためのグッズや携帯アプリのご紹介もいたしました。どの催しも、普段はなかなか測る機会のない身体の数値を測定したり、ふだん気になっていることを気軽に相談できたりしたので、ご参加いただいた方からは好評でした。ご興味をもたれた方は、是非とも来年の糖尿病フェアに足をお運びください。



病診連携施設紹介

柏木医院

診療科目：内科／消化器内科

院長 柏木 昭人



前列中央 柏木 昭人 院長

当院は横浜市営地下鉄立場駅から南に徒歩10分バス停萩丸の近くにあります。院長は日本消化器内視鏡学会、消化器病学会専門医で、消化器内科を中心に診療しております。上部消化管内視鏡は経鼻用の細い内視鏡を口から挿入し苦痛の少ない内視鏡を心がけております。横浜医療センターに紹介した患者様は早期胃癌から進行胃癌まで様々です。癌以外にも胆石症や閉塞性黄疸など多岐にわたり大変お世話になっています。長年通院のC型慢性肝炎の患者様は新しい内服薬による治療で肝炎を治していただき大変満足されておりました。専門以外では糖尿病の教育入院を含めたコントロール、狭心症、肺炎など当院では手に負えない患者様を適切な治療をしていただき、また、外来での対応をご指導いただいております。救急医療でもいつも迅速な対応をしていただき感謝しております。印象的な患者様は、70代男性、夏にゴルフのプレー中からしゃべりにくくなり、だんだん右手が動かなくなってきたと来院。救急外来に連絡、即入院し脳梗塞の治療をうけて現在は後遺症もなく元気にゴルフをプレーしています。

当院は消化器以外では多くが生活習慣病（高血圧、脂質異常症、糖尿病）で無症状の方が多く、診察室で世間話をされて帰っていかれます。私は話下手なので、いつも聞いてばかりです。スタッフが明るく対応してとても助けられています。開業医の役目は患者様に納得をしていただいた治療、検査をうけていただくことです。必要に応じて近隣の医療機関にご紹介しております。横浜医療センターは1. 医療レベルが高く安心出来る。2. 救急医療が充実している。3. バス1本で行けて便利。などの理由で多くの患者様が紹介を希望されます。今後とも連携をいただきながら地域医療に貢献したいと思います。



柏木医院

〒245-0023 神奈川県横浜市泉区和泉中央南1丁目37番7号

TEL：045-802-8253

ホームページ：<http://www.kashiwagi-iin.com/>

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	×	○	○	○	×	×

午前：月～金は9:00～12:00、土は9:00～13:00

午後：月・水は15:30～18:00、木・金は15:00～18:00

【休診日】火曜午後・土曜午後・日曜・祝日

診療科		月	火	水	木	金
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一	福山 綾子	小林 慈典	鈴木 陽一	塩谷 裕美
		宮田 直	鈴木 健	齋藤 祐	矢竹 暖子	矢内 貴憲
		小林 幸輔	松本 峻	遠藤 美央	尾高 真生	池川 環
	心臓血管外科	盆子原 幸宏	休診日(手術日)	交代医師	休診日	西本 隆亨
	形成外科	休診日	村下 一晃	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃
整形外科	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	佐藤 雅経	
	久保田 聡	小林 秀郎	小林 秀郎	佐藤 雅経	久保田 聡	
	川村 正樹	日野 勝利	川村 正樹	井上 雄介	井上 雄介	
		堀 莉彩		堀 莉彩		
外来受付 B	総合内科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	糖尿病内分泌内科	重松 絵理奈	重松 絵理奈	堤 優	原 洋史	小松 裕美子
		小松 裕美子		宇治原 誠		
	神経内科	渡辺 大祐	小林 絵礼奈	高橋 竜哉	多賀須 むつき	小島 麻里
	腎臓内科	松下 啓	前田 晃延	休診日	松下 啓	休診日
	呼吸器内科	後藤 秀人	増本 菜美	池田 秀平	休診日	榎原 基史
	消化器内科	野登 はるか (第1・3・5曜日)	内山 崇 (第1・3・5曜日)	塩賀 太郎 (第1・3・5曜日)	藤井 徹朗 (第1・3・5曜日)	山田 英司 (第1・3・5曜日)
		野中 敬 (第2・4曜日)	宮澤 志朗 (第2・4曜日)	小松 達司 (第2・4曜日)	松島 昭三 (第2・4曜日)	鈴木 大輔 (第2・4曜日)
	循環器内科	岩出 和徳	森 文章	岩出 和徳	岩出 和徳	森 文章
	膠原病・リウマチ内科	井畑 淳	渡邊 俊幸	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳
	外科・消化器外科	清水 哲也	関戸 仁	坂本 里紗	関戸 仁	休診日 (手術日)
			太田 郁子 (乳腺外科)			
	呼吸器外科	休診日	橋本 昌憲	休診日	渡部 克也	渡部 克也
脳神経外科	休診日 (手術日)	岡田 富 (第1・3・5曜日)	瓜生 康浩 (第1・3・5曜日)	休診日 (手術日)	市川 輝夫	
		宮原 宏輔 (第2・4曜日)	谷野 慎 (第2・4曜日)		藤澤 和彦	
緩和ケア内科(ペイン・緩和)	小川 賢一	小川 賢一	休診日	小川 賢一	小川 賢一	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	神川 文彰	佐々木 祐幸	神川 文彰	交代医師
	眼科	木村 正彦	秦 桂子	秦 桂子	木村 正彦	岡部 智子
		毛塚 由紀子	岡部 智子	山内 悠也	山内 悠也	毛塚 由紀子
	泌尿器科	柳澤 昌宏	平井 耕太郎	休診日	平井 耕太郎	柳澤 昌宏
		佐藤 元己	米山 梢子		米山 梢子	佐藤 元己
皮膚科	上田 喬士	上田 喬士	休診日 (手術日)	上田 喬士	上田 喬士	
	内海 友理	内海 友理		内海 友理	内海 友理	
外来受付 D	精神科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	産婦人科	向田 一憲	奥田 美加	窪田 興志	栗杉 輝彦	鈴木 理絵
		永井 康一	高山 智子	横澤 智美	岩田 亜貴子	平原 裕也
	産科	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)
	歯科口腔外科	休診日	根岸 明秀	休診日 (手術日)	根岸 明秀	休診日
		吉井 悠		吉井 悠		
専門外来 (予約制)	神経内科		頭痛外来 (第2・4曜日)			物忘れ外来
	膠原病・リウマチ内科			関節超音波		
	呼吸器内科					アスベスト外来 (第1曜日)
	脳神経外科			脳神経血管内治療外来 (畑岡 峻介)		
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	榎多 政治	杉山 正人
	精神科	物忘れ外来				物忘れ外来

初診 受付：平日 8:30～10:30
再診 (予約外) 受付：平日 8:30～10:30
休診 日：土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日

※予約変更・検診の予約については、14:00～17:00の受付となりますのでご了承ください。
(TEL: 045-853-8316)
※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。 ※ 青色の枠の担当医 は、完全予約制となります。

◆編集後記◆

記事でもご紹介しましたが、当院では本年4月1日よりドクターカーを運用しています。ドクターカーが出動することにより、一つでも多くの命を守れればと思っております。地域住民の救命率の向上を図るよう今後とも努力して参ります。

(K・S)